



発行所
福山民報社
福山市霞町
3丁目4番地25号
Tel.922-2815
Eメールアドレス
info@fjcp.com
ホームページアドレス
http://www.fjcp.com/

県内最大級の被害

広島市北部豪雨土砂災害

被災者に寄り添い救援活動に全力

**甚大な被害
緊急申し入れ**

20日未明、広島市安佐南・安佐北区は、記録的な豪雨による土砂災害に見舞われまし。広島県警によると死者66人、行方不明者は依然21人（27日現在）県内最大級の被害となりました。

土石流などで流れ出た土砂の量は50万立方メートル、被害は50箇所及びました。家の基礎しか残っていない地区や、山から流れ出した大量の土砂、流木とそれに押し出された住宅の屋根が田んぼをうずめるなど、被害は甚大です。

日本共産党県委員会は20日、ただちに「豪雨災害対策



21日：松井市長に訴える仁比参議院議員ら

本部」を設置し、21日には、仁比そうへい参議院議員・辻つねお県議・広島市議団・突田県議予定候補らは、現地調査を行いました。

仁比参議院議員らは調査中に偶然、松井市長に遭遇し、「自宅で避難している住民へも救援物資を配給すること。公の責任で、地域が復旧できるように対処するべき」と住民の要求を直接伝えました。



大量の土砂が住宅を破壊しました

また、日本共産党広島県委員会では25日、湯崎県知事に対し、被災対策について緊急の申し入れをしました。

申し入れは、国の激甚災害指定や災害復旧への支援要請、自治体責任での土砂・がれきの撤去、住宅の確保・提供や県戸管理の医療体制づくりなど緊急対応が必要な15項目です

広島県の危険箇所 全国最多!

県内の土砂災害危険箇所は、3万1987箇所と全国最多です。

14年3月末時点で、危険箇所の実地調査を終えたのは1万2000箇所にとどまっています。遅れの理由は、特別警戒区域の指定に向け、詳細な調査を並行した事も影響しているといえます。

辻つねお県議 議会で度々訴える

災害前日の19日、辻つねお県議は「社会基盤強化・再生可能エネルギー対策特別委員会」で、土砂災害対策と住宅耐震化の予算拡充などを求めていました。

「広島県の土砂災害危険個



25日：県庁にて、申し入れ書を渡す

所は全国最多で、未整備は6千カ所もある。このペースで整備完了まで何年かかるのか」と質しました。

県砂防課長は「333年」と答弁。辻県議は「県民の安全を守るため、土砂災害対策の予算を抜本的に増やし、整備を進めよ」と要望しました。

辻県議はこれまでも議会で、土砂災害危険箇所整備について度々取り上げてきました。

ボランティア 救援金のお願い

日本共産党福山市委員会は、被災地へのボランティアを28日派遣しました。日本共産党はボランティア派遣と共に、救援金も呼びかけています。詳しくは、日本共産党東部地区員会まで。

(952-2662)



泥集めをするボランティア

緊急署名を集めていただきます!

市民負担は許さない!

福山市は、建設水道委員会で、来年5月から下水道料金の値上げを行う方針を明らかにしました。

現行の基本料金は、10立方メートルまで、使った量を問わず水道920円、下水道850円の定額制。今後はいずれも基本料金を引き上げた上で、1立方メートルごとに設定した単価も加える従量料金制になります。

下水道料金の単価は従来より高くなります。市内の平均的な家庭（1か月使用量水17立方メートルの場合、上下水道合わせて、月楽299円引きあがりです。

また、これまで生活保護世帯に対する、上下水道の減免制度を廃止する方針です。保護費の引き下げや物価上昇など、さらなる生活苦を押し付ける事は許せません。

日本共産党は下水道金引き上げと生活保護世帯の減免制度廃止の緊急署名を集めています。29日に1回目の提出です。ご協力をよろしくお願ひします。